

【議事録】第20回（令和6年度第1回）鳥取県救急搬送高度化推進協議会

令和6年6月11日

鳥取県救急搬送高度化推進協議会事務局

- 1 開催日時 令和6年5月28日（火）午後6時から午後6時40分まで
- 2 開催方法 オンライン（Cisco Webex Meetings）
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議事録

1 開会

<事務局（黒見消防防災課長）>

司会を務めさせていただきます。本協議会事務局の消防防災課の課長をしております、黒見と申します。よろしくお願いいたします。

会議を始めます前に、資料の確認をさせていただきます。委員の皆様には事前に資料を送付させていただいております。

（資料の確認部分省略）

2 委員紹介

<事務局（黒見消防防災課長）>

多くの委員の皆様は、昨年度から就任していただいておりますが、人事異動に伴い、新たに委員に就任いただいた方のお名前を私の方からご紹介させていただきます。

なお、本日ご出席の委員の皆様のご紹介につきましては、出席者名簿をもって代えさせていただきます。

今年度新たに委員に就任されましたのは、出席者名簿の中ほどの鳥取中部ふるさと広域連合消防局警防課課長補佐でいらっしゃいます津村孝志様です。

また、事務局も担当者に変更がありました。新たに消防防災課係長の谷岡慎矢が務めさせていただきます。本日の説明等をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3 会長挨拶・定数確認

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。

救急医療の情勢というものは刻々と変化をしておりますし、特に鳥取県は地方であり、どのように限られたマンパワーや医療機関を活かしていくかということが今後課題になってきていますので、今日のような会議が非常に重要だと思います。建設的な協議ができればと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。

<事務局（黒見消防防災課長）>

上田会長ありがとうございました。

それではこれより議事に移らせていただきます。議事を始めます前に、本日の協議会には、委員15名中、13名（※）のご出席をいただいておりますので、鳥取県救急搬送高度化推進協議会運営要領第3条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

また、本日の議事録ですが、委員の皆様にご確認いただきまして、ご確認いただいたものを鳥取県の公式ホームページに掲載させていただきますので、ご承知くださいますようお願いいたします。

これからの議事進行は、運営要領第3条第1項の規定によりまして、上田会長にお願いいたします。

（※）その後、協議事項の協議開始前に委員15人全員の出席（オンラインミーティングへの参加）となる。

4 協議事項

（1）「鳥取県救急活動プロトコルに係る専門委員会（R5 継続検討事項関係）」の組織について

※事務局（谷岡消防防災課係長）より資料1のとおり説明。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

事務局から、鳥取県の救急活動プロトコルについて、前回の協議会で委員の方からご意見をいただいております、これについて、やはり専門委員会で検討することが必要だと判断して、専門委員会で検討することや委員構成案等の説明がございました。

これについてご意見ございませんでしょうか。

<事務局（黒見消防防災課長）>

意見がある場合は、そのまま画面で手挙げしていただけたらと思います。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

小林先生（鳥取県立中央病院）いかがですか。

（小林委員（鳥取県立中央病院）から応答なし）

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

ご意見がなさそうでしたら、このまま資料1の通り、進めさせていただくということによろしいでしょうか。

<田代委員（西部消防局警防課）>

西部消防局です。再度、確認をさせていただきます。

資料1-1にある、2024年で継続審議をするということに対する協議を行うということによろしいでしょうか。

<事務局（黒見消防防災課長）>

その通りでございます。

<田代委員（西部消防局警防課）>

わかりました。ありがとうございます。

また、委員の構成についてですけれども、当局としましては、現場で活動している救命士の意見を反映させたいというところから、指導救命士を追加で委員に指名させていただければと思っておりますが、この辺りは柔軟に対応していただけるのでしょうか。

<事務局（谷岡消防防災係長）>

事務局です。そのようにしていただいて専門委員を構成していただいて大丈夫です。

<田代委員（西部消防局警防課）>

ありがとうございます。以上です。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。

（質問、意見の発言なし）

ビデオが映っていない委員の方がおられるので、反対の方だけ、挙手をお願いします。

（反対が）ないようなので、これで賛成が得られたということで、資料1のとおり進めさせていただくという形でよろしいですね。それで進めさせていただきたいと思います。

（2）「鳥取県救急活動プロトコルに係る専門委員会（DNAR 関係）」の組織について

※事務局（谷岡消防防災課係長）より資料2のとおり説明。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

事務局は、鳥取県救急活動プロトコルにおいて、暫定的な取り扱いとしている蘇生を望まない救急患者の取り扱いの再検討について、去年も若干意見がありましたので、専門委員会で検討することや委員構成案等の説明がございました。

これについて、ご意見ございませんでしょうか。

（質問、意見の発言なし）

そうしましたら、これも反対の方は手を挙げていただくという形でよろしいですかね。異議ありという方、挙手をお願いします。

（反対が）ないようなので、資料2のとおり進めていただきたいと思います。

（3）「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準に係る専門委員会」の組織について

※事務局（谷岡消防防災課係長）より資料3のとおり説明。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

ありがとうございました。これについて、ご意見ございませんでしょうか。

（質問、意見の発言なし）

そうしましたら、傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準に係る専門委員会の組織について、反対の方は挙手をお願いします。委員構成等についてもご意見ございませんか。

（反対が）ないようなので、資料3のとおり進めていただきたいと思います。

(4) その他

<事務局（黒見消防防災課長）>

協議事項は以上3つです。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

3つで全てですね。さかのぼり1、2、3の協議事項について再度ご意見がある方はいらっしゃいませんか。

（意見の発言なし）

大丈夫であれば、1から3の協議について異議なしという形で進めさせていくということで、協議事項は終了でよろしいでしょうか。

では、協議事項は以上になります。

5 報告事項

・「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」に基づく救急搬送の実施状況について

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

資料4をご確認をお願いします。

鳥取県の搬送及び受け入れに関する実施基準は、救急車を要請された方の症状等を、緊急性、専門性、特殊性等の観点から14区分（19細分類）の基準を定め、分類に基づいた26の症例に対応する医療機関リストを作成しております。

また、消防機関が傷病者の状況を確認するための基準、搬送先医療機関を選定するための基準、医療機関に対し傷病者の状況を伝達するための基準を定めております。

さらに、搬送先が速やかに決定しない場合に、傷病者の受け入れ機関を確保するための受入医療機関確保等基準を定め、傷病者の搬送及び受け入れの迅速かつ適切な実施を図っております。

これらの搬送実施基準に基づく救急搬送状況について、令和2年から令和5年までの実績を資料4-1に記載しておりますので、分類区分ごとの搬送状況をご確認ください。こちらは細かなご説明は省略させていただきます。

次に、医療機関への照会回数の状況を説明いたします。令和4年中の救急搬送における医療機関の受け入れの照会を行った件数とその割合について、県内の状況をお知らせします。

なお、この調査の対象は、重症以上傷病者搬送、産科周産期傷病者搬送、小児傷病者搬送及び救命救急センター搬送の4事案となっております。

県内の消防局が令和4年中に実施したこの4事案に係る8,438件の救急搬送における医療機関への照会状況を見ますと、各事案とも95%以上が照会3回以内で、搬送先医療機関が決定しております。なお、医療機関への最多照会回数は12回でした。詳しくは資料4-2をご確認ください。

参考までに、中国地方での最多は広島県の44回、次いで岡山県の34回となっております。説明は以上でございます。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

ありがとうございます。この報告で何かご質問ご意見ありませんか。

私から質問してもいいですか。資料4-2の救命センターの（照会回数）8回が2件というのはこれ、やっぱりコロナとかの影響なんですか。

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

確認の上、後日、御回答させていただきたいと思います。

[後日、確認した結果]

- ・「資料4-2の中の救命救急センター搬送傷病者における最大照会回数となっている令和4年度12回、令和3年度8回の事案につきましては、いずれもコロナ陽性者ではありませんが、発熱症例の事案であり、対応不可、ベッド満床などの理由で照会した医療機関に収容できず、最終的に救命救急センターに収容した事案です。発熱症例ということで、当時の状況から間接的にコロナの影響による収容困難だった状況も一因として考えられます。」

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

年度的にはその可能性は高いということでしょうね。また来年以降、数字を比べてみる必要があるかなとは思っています。

他に何かございますでしょうか。山代先生、何かございませんでしょうか。

<山代委員（鳥取赤十字病院）>

大丈夫です。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

それでは、他に御意見なければこれで議事を終了したいと思います。スムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございます。

あとは、事務局の方にお返しします。

6 その他

・ 次回の開催予定について

<事務局（黒見消防防災課長）>

上田会長、大変ありがとうございました。

事務局から次回の開催予定についてお知らせさせていただきます。

各協議事項のスケジュール案のところでお話させていただきましたが、次回の協議会は令和7年2月頃の開催を予定しております。

その際には、事務局から日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

7 閉会

<事務局（黒見消防防災課長）>

本日は長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、第20回鳥取県救急搬送高度化推進協議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。